

水道施設の災害対策

Q. 豊橋市の水管橋は大丈夫？



水管橋の目視点検状況



ドローンによる点検状況
(豊橋市ドローン飛行隊撮影)

豊橋市では約500橋もの水管橋の維持管理を行っており、そのすべてを2~5年ごとに1度点検しています。点検方法は職員による目視点検が中心ですが、目視点検が困難な箇所についてはドローンを使用した点検を行っています。



ドローンから撮影した水管橋の様子



点検に使用するドローン

Q. 水管橋に異常があったら？



塗装作業



架け替えをした水管橋

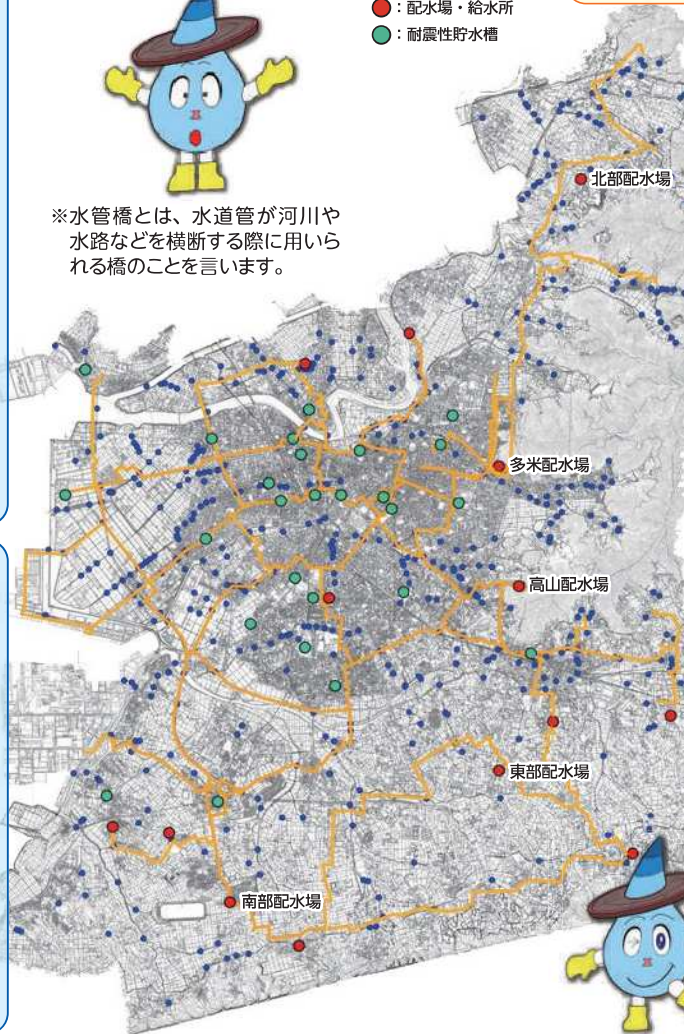
点検によって錆や塗装のはがれがあった水管橋は順次塗り替え(再塗装)を行い、劣化を防ぐようにしています。また、劣化が激しいものや漏水が多発している水管橋は順次新しいものに架け替えを行っています。その際、新しく架け替える水管橋は錆や腐食に強いステンレス製部材を使用し、長く使えるように工夫しています。

豊橋市内には
約500橋
の水管橋があるよ！



※水管橋とは、水道管が河川や水路などを横断する際に用いられる橋のことを言います。

- : 水管橋
- : 基幹管路・主要管路
- : 配水場・給水所
- : 耐震性貯水槽



Q. 大規模地震が発生したら、水道管は壊れない？



水道管布設状況

現在、豊橋市で新たに埋設をしている水道管はすべて地震に強い水道管を使用しています。管と管のつなぎ目が伸び縮みをすることで地震による水道管への振動をやわらげる仕組みになっています。

たくさんの水を運ぶ太い水道管(口径 350 mm以上)や病院、避難所となる小中学校などへの水道管を優先的に耐震管へ布設替えを行い、災害時に断水しないように対策を行っています。



地震に強い水道管 (赤矢印部が伸縮)

Q. 災害時も水は届くの？



豊橋市の配水管路 (イメージ図)

豊橋市にある配水場をすべて水道管でつなぐことで、配水場相互の水運用を可能としています。さらに、大規模漏水が発生した際も長期間の断水を防ぐために、供給ルートの複線化を推進しています。また、配水区域をブロック化することにより、漏水範囲を迅速に特定し、復旧までに要する時間を短縮することが可能となっています。



新設された東部配水場 (令和2年度)

水道水は、塩素による消毒効果があるから、3日程度は飲料水として使えるよ！
保存するときは、清潔な容器に口いっぱい入れて、しっかりと蓋をして涼しい場所に保管しよう！

Q. もし水が届かなくなったら？



耐震性貯水槽 (イメージ図)

大規模地震などにより水道水の供給が停止してしまった時に、学校や公園の地下に備え付けられている貯水槽に常時蓄えられている水道水(約3日分)を飲料水として供給できるようになっています。

Q. 家庭でもできる災害対策は？

災害規模によっては、断水する可能性があります。復旧までには日数が必要です。他の自治体へ給水車の支援要請も行いますが、広域的な災害では十分な支援を受けられない可能性があります。豊橋市には2台の給水車がありますが、医療機関を優先するため、皆さんに十分な水を届けることができないことも考えられます。そのため、普段から「いざ」という時に備えて、常に水を確保するようにしましょう。

備蓄する飲料水の目安 **1人1日30Lの飲料水を3日分**



※大規模災害時は1週間分の備蓄を推奨